

【学活資料③】 公立高校と私立高校の入試について

公立高校...都道府県立や市町村立の高校から、全国で1校のみ受検できる。

- ・自己推薦入試→面接と作文、学習点(評定)などで選抜。
- ・一般入試→学習点(評定)と学力点(当日点)の両方で選抜。面接や作文も実施されることがある。

【自己推薦入試について…出願を志望する際の留意事項】

※推薦出願については、10月の進路学活で詳しく説明する予定です。

- ① その高校にぜひ入学し、様々な場面で頑張りたいという、高い志がありますか。
- ② 学校説明会や個別相談会に、保護者と一緒に参加していることが望ましいです。
- ③ 筆記試験を回避したい、早く入学先を確保したい、プレッシャーから逃れたい、ステータスが欲しい等の安易な考えになっていませんか。
- ④ スクールポリシーを理解しており、各学校が示す「入学者受入に関する方針」に自分が合い、自分の適性を深く理解し、具体的にそれを相手に伝えることができますか。推薦面接で聞かれます。
- ⑤ その高校や学科に対する自分の適性や興味関心を、具体的に相手に伝えられますか。
- ⑥ 高校へ入るだけでなく、単位をとってきちんと卒業することが大切です。授業についていくために、一般受験しても十分に合格する力がありますか。
- ⑦ 出願に必要な「自己推薦書」を自分で書き上げられますか。(学校では誤字脱字程度しか見ることができません。…希望人数が多いため。)また、面接練習は生徒1人2回までとなります。
- ⑧ 推薦入学の生徒は、生徒会や部活等でリーダーとしての立場を期待されます。その心構えはありますか。
- ⑨ 自己推薦書を完成させるとともに、面接の練習、高校によっては適性検査の勉強や入試当日の作文の練習、推薦に落ちた場合に備え学科試験の勉強も平行して行う必要があります。かなり頑張らないとなりません。しっかりとした強い気持ちが必要です。
- ⑩ 自己推薦で出願変更はできません。また、石狩管外の普通科には自己推薦出願はできません。

私立高校...A日程・B日程それぞれ一校ずつ、計2校まで受験できる。

- ・推薦入試→中学校長の推薦が必要(※自己推薦もある)
- ・単願入試→私立高校1校のみ受験する。
- ・専願入試→他校も受験できるが、専願出願校に合格したときは必ずそこに入学する。
- ・一般入試→学習点(評定)重視や、学力点(当日点)重視の高校あり。

※欠席日数について

私立高校では欠席日数(理由)を厳しくみる傾向にあります。3年間で20~30日や、ある1年間で10日を超えると受験そのものが不可能になる場合もあります。心配なことがあれば窓口担当と御相談ください。

【学活資料④】学力テストについて

※学力テストは「入試本番を想定」して行います。以下の点に留意してください。

- ① 入試と同様の受け方になります。
- ② テストのときは標準服登校です。学力Aのときも標準服が望ましいですが、まだ暑いのでこのときだけ任意（ジャージもやむなし）とします。BとCでは標準服登校です。名札も忘れずに。

③ 持ち物：筆記用具・三角定規・定規・コンパス・消しゴム・替え芯

- ④ 使用不可のもの：分度器・分度器付き定規・折りたたみ式定規・

英単語つき定規・英単語つき腕時計 ただし、メーカー名は可

- ⑤ 消しゴム、ティッシュのカバーははずす。替え芯のケースは机に置かない。
- ⑥ 机の中には何も入れない。かばんのファスナーは閉め、椅子の下に置く。
- ⑦ テスト順は、国数社理英（英リスニングあり）。
- ⑧ 解答時間は全道一斉に 50 分間。開始 3 分前着席で配布。終了後 2 分間で回収。
配布と回収に時間をとるので、休み時間は 5 分間となります。
- ⑨ チャイムが鳴ってから氏名等を記入。問題用紙も解答用紙も回収するので、すべてに記名。
- ⑩ 解答中に問題に関する質問はできません。
- ⑪ 問題用紙は 2 枚重ねて 2 つ折り。各列最後の人が問題・解答を番号順に回収してください。
- ⑫ 試験日に解答は言えません。聞きに来ないこと。